

2022年9月1日

中国四川省の成都、ロックダウン導入へ

1. 四川省成都市の現状

中国四川省の省都、成都市は新型コロナウイルス感染症の対策として、9月1日午後6時（日本時間同7時）からロックダウン（都市封鎖）を導入すると発表しました。約2,120万人の住民に対し、特別な事情を除き、原則自宅にとどまることのほか、次のとおり命じました。

- ・9月1日から9月4日まで、成都市は「全住民を対象としたPCRスクリーニング検査」を行う。



成都市内で新型コロナ検査の列に並ぶ人々

- ・9月1日から、成都市では、原則として住民全員の外出を禁じる。ただし、この期間中、「24時間以内」に受けたPCR検査の陰性証明を提示すれば、各家庭で一日に1人、生活物資の調達のための外出が許可される。
- ・9月1日から、成都市では市民生活と都市運営を保障する公共サービス系企業を除き、必要不可欠ではないと判断された業種の従業員は在宅勤務を求められる。重要な製造業では、隔離体制を取れる場合は、在宅勤務の義務を免除される。
- ・バスや地下鉄は完全に運行停止にはせず、本数を制限して運行する。水道や電気、ガスや食品供給などのインフラ関連以外の企業では、全て在宅勤務となる。

2. その他の地域の状況

広東省、天津市、遼寧省、重慶市などの地域も、コロナウイルス感染症の流行を防止するために、PCR検査を実施するなどの対応施策を進めています。新規感染者の増加に伴い、各当局は当該地域の状況に応じ、隔離や交通制限などの措置を講じており、当該地域の生産や物流にある程度の影響が出る可能性があります。

3. 中国共産党第20回全国代表大会について

中国共産党中央委員会政治局が8月30日に開催した会議において、中国共産党第20回全国代表大会を10月16日に北京市で開催するよう提案されました。会議が近づくにつれて、安全な生産と物流の安定を確保しつつも、コロナウイルス感染症の管理が最優先事項となっていることから、さらなる管理の強化が見込まれます。

引き続き情報収集に努め、新しい情報を入手しましたら、ご報告いたしますので、よろしく申し上げます。

以上